

大学番号 052

注3

認可(JD)

設置年度 平成 30年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

京都大学大学院 医学研究科 京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻（国際連携専攻）

注2

【意見伺い（JD）】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 京都大学
令和3年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	総務部総務課法規企画掛
職名・氏名	サエキ ケンジ 佐伯 賢治
電話番号	075-753-2234
（夜間）	同上
e-mail	830houki@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

京都大学大学院 医学研究科

＜京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻（国際連携専攻）＞		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 授業科目の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	・・・・・・・・・・・・・・・・	10
4. 既設大学等の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	12
5. 教員組織の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	・・・・・・・・・・・・・・・・	33
7. その他全般的事項	・・・・・・・・・・・・・・・・	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人京都大学

【連携外国大学の設置者】カナダ Royal Institution for the Advancement of Learning

(2) 大学名

京都大学

【連携外国大学の名称】

McGill University

(3) 調査対象大学等の位置

〒606-8501

京都府京都市左京区吉田近衛町（本部の位置：京都府京都市左京区吉田本町）

【連携外国大学の本部の位置】

Faculty of Medicine, 3655 Sir William Osler Montreal, Quebec, Canada H3G 1Y6

(McGill University, 845 Sherbrooke Street West, Montreal, Quebec, Canada H3A 0G4)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ヤマギワ ジュイチ) 山極 壽一 (平成26年10月)	(ミナト ナガヒロ) 湊 長博 (令和2年10月)	前学長の任期満了による交代 令和2年10月1日就任 (3)
研究科長	(ウエモト シンジ) 上本 伸二 (平成26年10月)	(イワイ カズヒロ) 岩井 一宏 (平成30年10月)	前研究科長の任期満了による交代 平成30年10月1日(元)
専攻長	(マツダ フミヒコ) 松田 文彦 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
 ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和3年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
大学院医学研究科 京都大学・マギル大学 ゲノム医学国際連携専攻 (博士課程) 博士(ゲノム医学)	医学関係	4年	4人 <315>	年次 一人	16人 <1,012>	新規入学者を募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ < >内の数字は、母体となる学部等の全体の入学定員を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	4月入学	5月入学	4月入学	5月入学	4月入学	5月入学	4月入学	5月入学	4月入学	5月入学			
A 入学定員	() []	() []	4 (-) [-]	0.88	一倍	平成30年度5月入学者は、平成30年5月10日に決定した。 令和元年度の5月入学者2名のうち1名がマギル大学の入学猶予の制度を使用し、令和元年度ではなく令和2年度の入学を予定していることが、令和元年5月11日に、マギル大学から本学の教員に報告された。なお、当該学生は令和2年度にも入学しなかった。 令和3年度2年次進学者1名が編入。令和2年度の4月入学者2名のうち1名が、コロナウイルス感染症による渡航制限のためカナダ渡航の見込みが立たないため、転出した。							
志願者数	() []	() []	2 (-) [-]	2 (-) [2]	1 (-) [1]	2 (-) [2]	3 (-) [3]	2 (-) [2]	1 (-) [-]	4 (-) [4]			
受験者数	() []	() []	2 (-) [-]	2 (-) [2]	1 (-) [1]	2 (-) [2]	3 (-) [3]	2 (-) [2]	1 (-) [-]	4 (-) [4]			
合格者数	() []	() []	2 (-) [-]	2 (-) [2]	1 (-) [1]	2 (-) [2]	2 (-) [2]	2 (-) [2]	1 (-) [-]	4 (-) [4]			
B 入学者数	() []	() []	2 (-) [-]	2 (-) [2]	1 (-) [1]	1 (-) [1]	2 (-) [2]	1 (-) [1]	1 (-) [-]	4 (-) [4]			
入学定員超過率 B/A			1.00		0.50		0.75		1.25				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。
 (例) 「春季入学」→「4月入学」、「10月入学」等
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	4月入学	5月入学	4月入学	5月入学	4月入学	5月入学	4月入学	5月入学	4月入学	5月入学	4月入学	5月入学	
1年次	[] ()	[] ()	2 [-] (-)	2 [2] (-)	1 [1] (-)	1 [1] (-)	2 [2] (-)	1 [1] (-)	1 [-] (-)	4 [4] (-)			令和3年度の2年次生 ・1年次からの進級：2名 ・転入：1名 ・転出：1名 このため、在學生3名（うち留学生2名）となった
2年次					2 [-] (-)	2 [2] (-)	1 [1] (-)	1 [1] (-)	2 [1] (-)	1 [1] (-)			
3年次							2 [-] (-)	2 [2] (-)	1 [1] (-)	1 [1] (-)			
4年次									2 [-] (-)	2 [2] (-)			
計	[] ()	[] ()	4 [2] (-)	6 [4] (-)	9 [7] (-)	14 [10] (-)							

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。
(例) 「春季入学」→「4月入学」、「10月入学」等
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	4人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	6人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
令和2年度	9人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	14人	1人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	1人	1人	転専攻による転出 理由「その他」コロナ禍において留学を要件としない専攻を希望
			令和3年度	0人	0人	
合計		1人				

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{14} = \boxed{7.14} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<大学院医学研究科 京都大学・マギル大学ゲノム国際連携専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用	○	1-2集中	京都大学・マギル大学	2			2	1						2
	ゲノム医学 I		1-2前	京都大学	4			2							3
	ゲノム医学 II		1-2後	京都大学	4			2							3
	統計遺伝学 I		1-2前	京都大学	2			1							
	統計遺伝学 II		1-2後	京都大学	2			1							
	統計的学習 I		1-2前	京都大学	2			1							
	統計的学習 II		1-2後	京都大学	2			1							
	ゲノム・オミックス解析手法 I		1-2前	京都大学	2			1							
	ゲノム・オミックス解析手法 II		1-2後	京都大学	2			1							
	Human Genetics		1-2秋	マギル大学	3				2		1				
	Genetics and Bioethics		1-2秋	マギル大学	3				1						
	Population Genetics		1-2冬	マギル大学	3						1				
	Beyond the Human Genome		1-2冬	マギル大学	3				1						
	Advances in Human Genetics 1		1-2秋	マギル大学	3						1				
	Research Internship		1-2冬	マギル大学	3				1						1
	Stem Cell Biology		1-2秋	マギル大学	3						1				1
	Lab Course in Genomics		1-2冬	マギル大学	3				1						
	Statistics Concentrated in Genetic & Genomic Analysis		1-2秋	マギル大学	3				1						
	Inherited Cancer Syndromes		1-2冬	マギル大学	3				1						
	Host Responses to Pathogens		1-2秋	マギル大学	3				1						
	Using Bioinformatics Resources		1-2秋	マギル大学	3				1						
	Psychiatric Genetics		1-2秋	マギル大学	3				1						
	Techniques in Molecular Genetics		1-2冬	マギル大学	3				2						0
	Topics on the Human Genome		1-2冬	マギル大学	3				1						4
	Human Biochemical Genetics		1-2冬	マギル大学	3				1	1					1
小計(25科目)	-				17	53	0	8	11	0	4	0	0	3	
(研究指導)		1~4通		京都大学・マギル大学	○			65	42	6	17				
合計(25科目)	-				17	53	0	8	11	0	4	0	0	3	
卒業要件及び履修方法															
<p>(修了要件)</p> <p>4年以上在学し、下記の要件を満たした者について、博士(ゲノム医学) [Ph. D. in Human Genetics] の学位を両大学からの共同学位として授与する。</p> <p>a) 京都大学開講の必修科目4科目12単位とマギル大学開講の必修科目2科目6単位を修得すること。</p> <p>b) 京都大学開講の選択科目のうち2科目4単位以上とマギル大学開講の選択科目のうち3科目9単位以上を修得すること。</p> <p>c) 共同開設科目2単位を修得すること。</p> <p>d) 各科目の成績評価の総平均がB以上であること。</p> <p>e) 必要な研究指導を受けたうえ、学位調査委員会による学位論文の公開審査試験に合格すること。</p> <p>(履修方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則として履修期間内の1年間は連携相手方大学に滞在し、授業科目の履修と研究を行う。 授業科目の履修は2年次までに終わることを原則とするが、3年次以降での履修も可能とする。 学生は両大学から配置する各1名の指導教員とともに1年次の早い時期に学位論文執筆のための研究テーマの具体的な内容について検討し、研究計画を立てて研究を開始する。 両指導教員の指導の下で3年次後期から学位論文の作成を開始する。 															

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用	○	1-2集中	京都大学・マギル大学	2			4	1						1
	ゲノム医学 I		1-2前	京都大学	4			1							1
	ゲノム医学 II		1-2後	京都大学	4			1	1						2
	統計遺伝学 I		1-2前集中	京都大学	2			1							
	統計遺伝学 II		1-2後集中	京都大学	2			1							
	統計的学習 I		1-2前集中	京都大学	2			1							
	統計的学習 II		1-2後集中	京都大学	2			1							
	ゲノム・オミックス解析手法 I		1-2前	京都大学	2			1							
	ゲノム・オミックス解析手法 II		1-2後	京都大学	2			1							
	Human Genetics		1-2秋	マギル大学	3				0	4					4
	PhD Senior Seminar		4通	マギル大学	3				2	1					
	Genetics and Bioethics		1-2秋	マギル大学	3				1						
	Population Genetics		1-2冬	マギル大学	3									1	
	Beyond the Human Genome		1-2冬	マギル大学	3				1						
	Advances in Human Genetics 1		1-2秋	マギル大学	3									1	
	Research Internship		1-2冬	マギル大学	3				0					1	
	Stem Cell Biology		1-2秋	マギル大学	3									1	
	Lab Course in Genomics		1-2冬	マギル大学	3				1	0					
	Statistics Concentrated in Genetic & Genomic Analysis		1-2秋	マギル大学	3				1						
	Inherited Cancer Syndromes		1-2冬	マギル大学	3				1						
	Host Responses to Pathogens		1-2秋	マギル大学	3				1						
	Using Bioinformatics Resources		1-2秋	マギル大学	3				1						
	Psychiatric Genetics		1-2秋	マギル大学	3				1						
	Techniques in Molecular Genetics		1-2冬	マギル大学	3				1						0
	Topics on the Human Genome		1-2冬	マギル大学	3				1						4
Human Biochemical Genetics		1-2秋	マギル大学	3				2	1					1	
Advanced Readings in Genetics 1		1-2秋	マギル大学	3				1	0					4	
Advanced Readings in Genetics 2		1-2冬	マギル大学	3										2	
Advanced Readings in Genetics 3		1-2冬	マギル大学	3				1	1						
Neurogenetics		1-2秋	マギル大学	3					0					1	
小計(30科目)	-				24	65	0	12	10	0	11	0	0	2	
(研究指導)		1~4通		京都大学・マギル大学	○			78	37	4	21				
合計(30科目)	-				24	65	0	12	10	0	11	0	0	2	
卒業要件及び履修方法															
<p>(修了要件)</p> <p>4年以上在学し、下記の要件を満たした者について、博士(ゲノム医学) [Ph. D. in Human Genetics] の学位を両大学からの共同学位として授与する。</p> <p>a) 京都大学開講の必修科目4科目12単位とマギル大学開講の必修科目2科目6単位を修得すること。</p> <p>b) 京都大学開講の選択科目のうち2科目4単位以上とマギル大学開講の選択科目のうち2科目6単位以上を修得すること。</p> <p>c) 共同開設科目2単位を修得すること。</p> <p>d) 各科目の成績評価の総平均がB以上であること。</p> <p>e) 必要な研究指導を受けたうえ、学位調査委員会による学位論文の公開審査試験に合格すること。</p> <p>(履修方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則として履修期間内の1年間は連携相手方大学に滞在し、授業科目の履修と研究を行う。 授業科目の履修は2年次までに終わることを原則とするが、3年次以降での履修も可能とする。 学生は両大学から配置する各1名の指導教員とともに1年次の早い時期に学位論文執筆のための研究テーマの具体的な内容について検討し、研究計画を立てて研究を開始する。 両指導教員の指導の下で3年次後期から学位論文の作成を開始する。 															

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用	○	1-2集中	京都大学・マギル大学	2			3	2		1		1
	ゲノム医学 I		1-2前	京都大学	4			2	1		1		1
	ゲノム医学 II		1-2後	京都大学	4			2	1		1		1
	統計遺伝学 I		1-2前	京都大学	2			1					
	統計遺伝学 II		1-2後	京都大学	2			1					
	統計的学習 I		1-2前	京都大学	2			1					
	統計的学習 II		1-2後	京都大学	2			1					
	ゲノム・オミックス解析手法 I		1-2前	京都大学	2			1	1				
	ゲノム・オミックス解析手法 II		1-2後	京都大学	2			1	1				
	Human Genetics		1-2秋	マギル大学	3			1	2		0		
	Genetics and Bioethics		1-2秋	マギル大学	3				1				
	Population Genetics		1-2冬	マギル大学	3						1		
	Beyond the Human Genome		1-2冬	マギル大学	3				1				
	Advances in Human Genetics 1		1-2秋	マギル大学	3			1			2		
	Research Internship		1-2秋	マギル大学	3				1				
	Stem Cell Biology		1-2冬	マギル大学	3						1		
	Lab Course in Genomics		1-2冬	マギル大学	3				1				
	Statistics Concentrated in Genetic & Genomic Analysis		1-2秋	マギル大学	3				1				
	Inherited Cancer Syndromes		1-2冬	マギル大学	3			1	0				
	Host Responses to Pathogens		1-2秋	マギル大学	3				1				
	Using Bioinformatics Resources		1-2冬	マギル大学	3				1				
	Psychiatric Genetics		1-2秋	マギル大学	3				1				
	Techniques in Molecular Genetics		1-2冬	マギル大学	3				2				
	Topics on the Human Genome		1-2冬	マギル大学	3				1				
	Human Biochemical Genetics		1-2冬	マギル大学	3			1	1				
小計(25科目)	-				15	53	0	9	13	0	5	0	1
(研究指導)		1~4通		京都大学・マギル大学	○			70	40	6	17		
合計(25科目)	-				15	53	0	9	13	0	5	0	1
卒業要件及び履修方法													
<p>(修了要件)</p> <p>4年以上在学し、下記の要件を満たした者について、博士(ゲノム医学) [Ph. D. in Human Genetics] の学位を両大学からの共同学位として授与する。</p> <p>a) 京都大学開講の必修科目4科目12単位とマギル大学開講の必修科目1科目3単位を修得すること。</p> <p>b) 京都大学開講の選択科目のうち2科目4単位以上とマギル大学開講の選択科目のうち3科目9単位以上を修得すること。</p> <p>c) 共同開設科目2単位を修得すること。</p> <p>d) 各科目の成績評価の総平均がB以上であること。</p> <p>e) 必要な研究指導を受けたうえ、学位調査委員会による学位論文の公開審査試験に合格すること。</p> <p>(履修方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則として履修期間内の1年間は連携相手方大学に滞在し、授業科目の履修と研究を行う。 授業科目の履修は2年次までに終わることを原則とするが、3年次以降での履修も可能とする。 学生は両大学から配置する各1名の指導教員とともに1年次の早い時期に学位論文執筆のための研究テーマの具体的な内容について検討し、研究計画を立てて研究を開始する。 両指導教員の指導の下で3年次後期から学位論文の作成を開始する。 													

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用	○	1-2集中	京都大学・マギル大学	2			4	1				3
	ゲノム医学 I		1-2前	京都大学	4			2	1				3
	ゲノム医学 II		1-2後	京都大学	4			2	1				2
	統計遺伝学 I		1-2前	京都大学	2			1					
	統計遺伝学 II		1-2後	京都大学	2			1					
	統計的学習 I		1-2前	京都大学	2			1					
	統計的学習 II		1-2後	京都大学	2			1					
	ゲノム・オミックス解析手法 I		1-2前	京都大学	2			1					
	ゲノム・オミックス解析手法 II		1-2後	京都大学	2			1					
	Human Genetics		1-2秋	マギル大学	3			1	5		1		
	PhD Senior Seminar		4通		マギル大学	3			2	1			
	Genetics and Bioethics		1-2秋	マギル大学	3				2				
	Population Genetics		1-2冬	マギル大学	3						1		
	Beyond the Human Genome		1-2冬	マギル大学	3				1				
	Advances in Human Genetics 1		1-2秋	マギル大学	3						1		
	Research Internship		1-2秋	マギル大学	3				1				
	Stem Cell Biology		1-2冬	マギル大学	3						1		
	Lab Course in Genomics		1-2冬	マギル大学	3			1	0				
	Statistics Concentrated in Genetic & Genomic Analysis		1-2秋	マギル大学	3				1				
	Inherited Cancer Syndromes		1-2冬	マギル大学	3			1	0				
	Host Responses to Pathogens		1-2秋	マギル大学	3				1				
	Using Bioinformatics Resources		1-2冬	マギル大学	3				1				
	Psychiatric Genetics		1-2秋	マギル大学	3				1				
	Techniques in Molecular Genetics		1-2冬	マギル大学	3			1					
	Topics on the Human Genome		1-2冬	マギル大学	3				1				
Human Biochemical Genetics		1-2冬	マギル大学	3			1	1					
Advanced Readings in Genetics 1		1-2秋		マギル大学	3			1		1			
Advanced Readings in Genetics 3		1-2冬		マギル大学	3					2			
小計(28科目)	-				20	59	0	12	12	0	6	0	3
(研究指導)		1~4通		京都大学・マギル大学	○			75	37	5	18		
合計(28科目)	-				20	59	0	12	12	0	6	0	3
卒業要件及び履修方法													
<p>(修了要件)</p> <p>4年以上在学し、下記の要件を満たした者について、博士(ゲノム医学) [Ph. D. in Human Genetics] の学位を両大学からの共同学位として授与する。</p> <p>a) 京都大学開講の必修科目4科目12単位とマギル大学開講の必修科目2科目6単位を修得すること。</p> <p>b) 京都大学開講の選択科目のうち2科目4単位以上とマギル大学開講の選択科目のうち2科目6単位以上を修得すること。</p> <p>c) 共同開設科目2単位を修得すること。</p> <p>d) 各科目の成績評価の総平均がB以上であること。</p> <p>e) 必要な研究指導を受けたうえ、学位調査委員会による学位論文の公開審査試験に合格すること。</p> <p>(履修方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則として履修期間内の1年間は連携相手方大学に滞在し、授業科目の履修と研究を行う。 授業科目の履修は2年次までに終わることを原則とするが、3年次以降での履修も可能とする。 学生は両大学から配置する各1名の指導教員とともに1年次の早い時期に学位論文執筆のための研究テーマの具体的な内容について検討し、研究計画を立てて研究を開始する。 両指導教員の指導の下で3年次後期から学位論文の作成を開始する。 													

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用	○	1-2集中	京都大学・マギル大学	2			5	1					2
	ゲノム医学 I		1-2前	京都大学	4			1						2
	ゲノム医学 II		1-2後	京都大学	4			1	1					1
	統計遺伝学 I		1-2前集中	京都大学	2			1						
	統計遺伝学 II		1-2後集中	京都大学	2			1						
	統計的学習 I		1-2前集中	京都大学	2			1						
	統計的学習 II		1-2後集中	京都大学	2			1						
	ゲノム・オミックス解析手法 I		1-2前	京都大学	2			1						
	ゲノム・オミックス解析手法 II		1-2後	京都大学	2			1						
	Human Genetics		1-2秋	マギル大学	3			1	5		1			
	PhD Senior Seminar		3-4通	マギル大学	3			2	1					
	Genetics and Bioethics		1-2秋	マギル大学	3				1					
	Population Genetics		1-2冬	マギル大学	3						1			
	Beyond the Human Genome		1-2冬	マギル大学	3				1					
	Advances in Human Genetics 1		1-2秋	マギル大学	3						1			
	Research Internship		1-2冬	マギル大学	3				1					
	Stem Cell Biology		1-2冬	マギル大学	3						1			
	Lab Course in Genomics		1-2冬	マギル大学	3			1	0					
	Statistics Concentrated in Genetic & Genomic Analysis		1-2秋	マギル大学	3				1					
	Inherited Cancer Syndromes		1-2冬	マギル大学	3			1	0					
	Host Responses to Pathogens		1-2秋	マギル大学	3			1						
	Using Bioinformatics Resources		1-2秋	マギル大学	3				1					
	Psychiatric Genetics		1-2秋	マギル大学	3			1						
	Techniques in Molecular Genetics		1-2冬	マギル大学	3			1						
	Topics on the Human Genome		1-2冬	マギル大学	3				1					
	Human Biochemical Genetics		1-2冬	マギル大学	3			0	1					
	Advanced Readings in Genetics 1		1-2秋	マギル大学	3				1		1			
	Advanced Readings in Genetics 2		1-2冬	マギル大学	3						2			
	Advanced Readings in Genetics 3		1-2冬	マギル大学	3			1	1					
	Neurogenetics		1-2秋	マギル大学	3				1		1			
小計(30科目)	-				20	65	0	11	14	0	6	0	2	
(研究指導)			1~4通	京都大学・マギル大学	○			73	38	5	18			
合計(30科目)					20	65	0	11	14	0	6	0	2	
卒業要件及び履修方法														
<p>(修了要件)</p> <p>4年以上在学し、下記の要件を満たした者について、博士(ゲノム医学) [Ph. D. in Human Genetics] の学位を両大学からの共同学位として授与する。</p> <p>a) 京都大学開講の必修科目4科目12単位とマギル大学開講の必修科目2科目6単位を修得すること。</p> <p>b) 京都大学開講の選択科目のうち2科目4単位以上とマギル大学開講の選択科目のうち2科目6単位以上を修得すること。</p> <p>c) 共同開設科目2単位を修得すること。</p> <p>d) 各科目の成績評価の総平均がB以上であること。</p> <p>e) 必要な研究指導を受けたうえ、学位調査委員会による学位論文の公開審査試験に合格すること。</p> <p>(履修方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則として履修期間内の1年間は連携相手方大学に滞在し、授業科目の履修と研究を行う。 授業科目の履修は2年次までに終わることを原則とするが、3年次以降での履修も可能とする。 学生は両大学から配置する各1名の指導教員とともに1年次の早い時期に学位論文執筆のための研究テーマの具体的内容について検討し、研究計画を立てて研究を開始する。 両指導教員の指導の下で3年次後期から学位論文の作成を開始する。 														

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。

・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。

・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。

・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

・教育内容の充実を図るため及び専任教員の採用により、「次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に、「准教授1」から「准教授2」に、「助教0」から「助教1」に、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
 ・教育内容の充実を図るため及び専任教員の採用により、「ゲノム医学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教0」から「助教1」に、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。
 ・教育内容の充実を図るため及び専任教員の採用により、「ゲノム医学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教0」から「助教1」に、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。
 ・教育内容の充実を図るため、「ゲノム・オミックス解析手法Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
 ・教育内容の充実を図るため、「ゲノム・オミックス解析手法Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
 ・担当教員の昇任により、「Human Genetics」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
 ・教育内容の充実を図るため、「Advances in Human Genetics 1」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教2」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「Research Internship」の配当年次を「1・2冬」から「1・2秋」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「Stem Cell Biology」の配当年次を「1・2秋」から「1・2冬」に変更。
 ・担当教員の昇任により、「Inherited Cancer Syndromes」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「Using Bioinformatics Resources」の配当年次を「1・2秋」から「1・2冬」に変更。
 ・担当教員の採用・昇任・辞職等により、「研究指導」の専任教員等の配置を「教授65」から「教授70」に、「准教授42」から「准教授40」に変更。

【令和元年度】

・教育内容の充実を図るため、「次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。その後、カリキュラム編成の見直しにより、さらに教員の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授2」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
 ・教育内容の充実を図るため、「ゲノム医学Ⅰ」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。その後、カリキュラム編成の見直しにより、さらに教員の配置を「助教1」から「助教0」、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
 ・教育内容の充実を図るため、「ゲノム医学Ⅱ」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。その後、カリキュラム編成の見直しにより、さらに専任教員の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「ゲノム・オミックス解析手法Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「ゲノム・オミックス解析手法Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
 ・教育内容の充実を図るため、「Human Genetics」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授5」に、「助教0」から「助教1」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「PhD Senior Seminar」を、開設大学を「マギル大学」、配当年次を「4通」、専任教員等の配置を「教授1」、「准教授2」、単位数を「必修3」として追加。その後、教員の昇任により、さらに教員の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
 ・教育内容の充実を図るため、「Genetics and Bioethics」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「Advances in Human Genetics 1」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「助教2」から「助教1」に変更。
 ・教員の昇任により、「Lab Course in Genomics」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「Techniques in Molecular Genetics」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「Advanced Readings in Genetics 1」を、開設大学を「マギル大学」、配当年次を「1・2秋」、専任教員等の配置を「准教授1」、「助教1」、単位数を「選択3」として追加。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「Advanced Readings in Genetics 3」を、開設大学を「マギル大学」、配当年次を「1・2冬」、専任教員等の配置を「助教2」、単位数を「選択3」として追加。
 ・担当教員の採用・昇任・辞職等により、「研究指導」の専任教員等の配置を「教授70」から「教授69」に、「准教授40」から「准教授39」に、「講師6」から「講師5」に変更。その後、担当教員の採用・昇任・辞職等により、さらに専任教員等の配置を「教授69」から「教授75」に、「准教授39」から「准教授37」に、「助教17」から「助教18」に変更。

【令和2年度】

・教育内容の充実を図るため、「次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用」の専任教員の配置を「教授4」から「教授5」、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「ゲノム医学Ⅰ」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「ゲノム医学Ⅱ」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「統計遺伝学Ⅰ」及び「統計的学習Ⅰ」の配当年次を「1・2前」から「1・2前集中」に、「統計的学習Ⅱ」の配当年次を「1・2後」から「1・2後集中」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「PhD Senior Seminar」の配当年次を「4通」から「3・4通」に、「Research Internship」の配当年次を「1・2秋」から「1・2冬」に、「Using Bioinformatics Resources」の配当年次を「1・2冬」から「1・2秋」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「Genetics and Bioethics」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「Human Biochemical Genetics」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「Advanced Readings in Genetics 2」を、開設大学を「マギル大学」、配当年次を「1・2冬」、専任教員等の配置を「助教2」、単位数を「選択3」として追加。
 ・教育内容の充実を図るため、「Advanced Readings in Genetics 3」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」、「助教2」から「助教0」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「Neurogenetics」を、開設大学を「マギル大学」、配当年次を「1・2秋」、専任教員等の配置を「准教授1」、「助教1」、単位数を「選択3」として追加。
 ・担当教員の採用・昇任・辞職等により、「研究指導」の専任教員等の配置を「教授75」から「教授73」に、「准教授37」から「准教授38」に変更。

【令和3年度】

・担当教員の辞職により、「次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用」の専任教員の配置を「教授5」から「教授4」、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
 ・担当教員の辞職により、「ゲノム医学Ⅰ」の教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
 ・教育内容の充実を図るため及び担当教員の採用により、「ゲノム医学Ⅱ」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「Human Genetics」の教員の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授5」から「准教授4」、「助教1」から「助教4」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「PhD Senior Seminar」の配当年次を「3・4通」から「4通」に変更。
 ・担当教員の配置変更により、「Research Internship」の「准教授1」から「助教1」に変更。
 ・教育内容の充実を図るため及びカリキュラム編成の見直しにより、「Topics on the Human Genome」の教員の配置を「助教0」から「助教4」に変更。
 ・教育内容の充実を図るため及びカリキュラム編成の見直しにより、「Human Biochemical Genetics」の教員の配置を「教授0」から「教授2」に、「助教0」から「助教1」に変更。
 ・教育内容の充実を図るため及びカリキュラム編成の見直しにより、「Advanced Readings in Genetics 1」の教員の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に、「助教1」から「助教4」に変更。
 ・カリキュラム編成の見直しにより、「Neurogenetics」の教員の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。

(注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
京都大学	4 科目	4 科目	0 科目	8 科目	4 科目 [0]	4 科目 [0]	0 科目 [0]	8 科目 [0]	
マギル大学	1 科目	15 科目	0 科目	16 科目	2 科目 [1]	19 科目 [4]	0 科目 [0]	21 科目 [5]	
共同開設科目	1 科目	0 科目	0 科目	1 科目	1 科目 [0]	0 科目 [0]	0 科目 [0]	1 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	京都大学	該当なし					
2	マギル大学	該当なし					
3	共同開設科目	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	京都大学	該当なし					
2	マギル大学	該当なし					
3	共同開設科目	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

今年度開講されない科目はいずれも選択科目であり、修了単位の取得は他の科目でも可能なため支障はない。在学生にはHP上で開講の有無が事前に通知されている。マギル大学より来年度の開講は予定されているとの連絡を受けている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{25} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地等の整備のため (30)		
	校舎敷地	795,015 792,207 m ²	0 m ²	0 m ²	795,015 792,207 m ²			
	運動場用地	113,173 m ²	0 m ²	0 m ²	113,173 m ²			
	小 計	908,188 905,380 m ²	0 m ²	0 m ²	908,188 905,380 m ²			
	そ の 他	143,427 m ²	0 m ²	0 m ²	143,427 m ²			
	合 計	1,051,615 1,048,807 m ²	0 m ²	0 m ²	1,051,615 1,048,807 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎の整備のため(3) 校舎の整備のため(2) 校舎の整備のため(元) 校舎の整備のため(30)		
		1,174,896 m ² 1,186,494 1,188,069 (1,174,407 m ²) 1,174,006 1,174,896	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	1,174,896 m ² 1,186,494 1,188,069 (1,174,407 m ²) 1,174,006 1,174,896			
(3) 教 室 等	講 義 室	257 256 255 260 254 室	演 習 室 304 305 306 299 室	実験実習室 916 918 955 899 894 室	情報処理学習施設 17 18 20 室 (補助職員 4 人)	語学学習施設 7 8 室 (補助職員 0 人)	教室等の整備のため(3) 教室等の整備のため(2) 教室等の整備のため(元) 教室等の整備のため(30)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員の辞職のため (3) 専任教員の辞職のため (2) 平成30年4月 専任教授1名が新たに就 任のため(30)		
	大学院医学研究科 京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻			61 62 64 63 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体の共有分を含む 図書等の整備のため(3) 図書等の整備のため(2) 図書等の整備のため(元) 図書等の整備のため(30)
	医学研究科	7,006,456 [3,308,179] 7,239,195 [3,391,205] 7,188,241 [3,372,364] 7,126,337 [3,350,105] (7,093,273 [3,344,194]) (7,006,456 [3,308,179])	167,875 [107,651] 176,087 [107,694] 173,668 [105,364] 193,402 [124,941] (167,625 [99,820]) (167,875 [107,651])	43,138 [41,881] 51,045 [49,455] 47,598 [46,047] 67,045 [65,543] (42,001 [40,576]) (43,138 [41,881])	40,922 17,053 17,450 16,622 (18,200) (40,922)	72,666 (72,666)	105,452 (105,452)	
	計	7,006,456 [3,308,179] 7,239,195 [3,391,205] 7,188,241 [3,372,364] 7,126,337 [3,350,105] (7,093,273 [3,344,194]) (7,006,456 [3,308,179])	167,875 [107,651] 176,087 [107,694] 173,668 [105,364] 193,402 [124,941] (167,625 [99,820]) (167,875 [107,651])	43,138 [41,881] 51,045 [49,455] 47,598 [46,047] 67,045 [65,543] (42,001 [40,576]) (43,138 [41,881])	40,922 17,053 17,450 16,622 (18,200) (40,922)	72,666 (72,666)	105,452 (105,452)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		図書館の整備のため(3) 図書館の整備のため(2) 図書館の整備のため(元) 図書館の整備のため(30)	
	51,849 51,139 50,826 50,753 50,965 m ²		3,483 3,213 3,188 3,182 3,240 席		8,117,389 8,719,417 8,419,194 8,417,556 8,450,722 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	7,945 m ²		陸上競技場(500mトラック)、テニスコート(9.5面)、バレーボールコート(1面)、野球場・多目的グラウンドサッカー場・ラグビー場(各1面)、投てき場・アーチェリー場・弓道場・相撲道場・馬場・エアライフル射撃場(各1カ所)、プール(50m×8コース)敷地					

(8) の及び維持	経費 の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人当 り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号（その 1 の 1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。）

※国際連携学科等に係る申請大学の状況を記載し、連携外国大学の状況は含めないでください。

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	京 都 大 学				学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	6	備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度
総合人間学部 総合人間学科	4	120		480	学士(総合人間学)	1.04	1.03		平成15	京都市左京区吉田二本松町
文学部 人文学科	4	220	-	880	学士(文学)	1.01	1.02		平成7	京都市左京区吉田本町
教育学部 教育科学科	4	60	3年次10	260	学士(教育学)	0.97	1.06		平成10	京都市左京区吉田本町
法学部	4	330	3年次10	1340	学士(法学)	1.00	1.02		明治32	京都市左京区吉田本町
経済学部 経済経営学科	4	240	3年次20	1000	学士(経済学)	0.97	1.02		平成21	京都市左京区吉田本町
理学部 理学科	4	311	-	1244	学士(理学)	1.02	1.04		平成6	京都市左京区北白川追分町
医学部 医学科 人間健康科学科	6 4	107 100	- 2年次17	642 451	学士(医学) 学士(人間健康科学)	1.02 1.00	1.01 1.04	令和2	明治32 平成20	京都市左京区吉田近衛町
薬学部 薬科学科 薬学科	 4 6	 65 15	 - -	 260 120	 学士(薬科学) 学士(薬学)	 1.06 1.04	 1.05 1.05	 平成18 平成18	 平成18 平成18	京都市左京区吉田下阿達町46-29
工学部 地球工学科 建築学科 物理工学科 電気電子工学科 情報学科 工業化学科	4 4 4 4 4 4 4	185 80 235 130 90 235	- - - - - -	740 320 940 520 360 940	学士(工学)	1.02 1.03 1.02 1.05 1.05 1.03	1.01 1.01 1.02 1.06 1.07 1.03		平成8 平成8 平成6 平成7 平成7 平成5	京都市左京区吉田本町
農学部 資源生物科学科 応用生命科学科 地域環境工学科 食料・環境経済学科 森林科学科 食品生物科学科	4 4 4 4 4 4	94 47 37 32 57 33	- - - - - -	376 188 148 128 228 132	学士(農学)	1.02 1.01 1.07 1.06 1.03 1.03	1.02 1.04 1.02 1.06 1.03 1.03		平成13 平成13 平成13 平成13 平成13 平成13	京都市左京区北白川追分町
文学研究科 文献文化学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 思想文化学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 歴史文化学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 行動文化学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 現代文化学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 京都大学・ハイデルベルク大学 国際連携文化越境専攻 修士課程	 5 2 3 5 2 3 5 2 3 5 2 3 5 2 3 5 2 3 2	 33 18 20 11 20 11 18 10 9 5	 - - - - - - - - - - - - - -	 66 54 40 33 40 33 36 30 18 15 20	修士(文学) 博士(文学)	 0.66 0.73 1.02 0.99 1.12 0.96 1.21 0.86 0.99 0.66 0.80	 0.57 0.66 0.80 0.90 1.10 1.00 1.05 0.80 1.11 0.40	 平成8 平成8 平成8 平成8 平成8 平成8 平成8 平成8 平成8 平成29	京都市左京区吉田本町	

薬科学科、薬学科
(薬学部は、平成30年度入学者より、4年進級時に学科への配属が決定されるため、学科ごとの入学者数を算出できない。そのため、平成30年度以降は、入学者数を各学科の入学定員の割合で案分し、各学科の入学者数を算出(小数点以下2ケタまで)したうえで、定員超過率を計算している。)

定員変更 (15)
定員変更 (△15)

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
教育学研究科 教育学環専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程	5 2 3	42	-	84	修士(教育学) 博士(教育学)	0.77 1.05	0.66 1.00		平成30	京都市左京区吉田本町	
法学研究科 法政理論専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 法曹養成専攻 専門職学位課程	5 2 3 3	21 24 160	-	42 72 480	修士(法学) 博士(法学) 法務博士(専門職)	0.95 0.76 0.97	1.14 0.75 0.99		平成16 平成16	京都市左京区吉田本町	
経済学研究科 経済学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程	5 2 3	70	-	140	修士(経済学) 博士(経済学)	0.97 0.93	0.85 0.44		平成20	京都市左京区吉田本町	定員変更(△19)
理学研究科 数学・数理解析専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 物理学・宇宙物理学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 地球惑星科学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 化学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 生物科学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程	5 2 3 5 2 3 5 2 3 5 2 3 5 2 3 5 2 3	52 20 81 48 50 25 61 32 74 41	-	104 60 162 144 100 75 122 96 148 123	修士(理学) 博士(理学)	1.04 0.83 1.07 0.79 0.88 0.84 1.01 0.83 0.81 0.96	1.01 1.00 1.06 0.77 0.96 0.76 1.01 0.50 0.72 0.80		平成6 平成7 平成6 昭和28 平成7	京都市左京区北白川追分町	
医学研究科 医学専攻 博士課程 医科学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 社会健康医学系専攻 博士課程 博士後期課程 専門職学位課程 人間健康科学系専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻 博士課程	4 5 2 3 3 2 5 2 3 4	166 20 15 12 34 70 25 4	-	668 40 45 36 68 119 55 16	博士(医学) 修士(医科学) 博士(医科学) 博士(社会健康医学) 社会健康医学修士(専門職) 修士(人間健康科学) 博士(人間健康科学) 博士(ゲノム医学)	1.03 1.37 1.08 1.13 0.94 1.22 1.27 0.56	0.98 1.35 1.26 0.97 1.16 1.11 1.04 0.25		平成18 平成12 平成12 平成19 平成30	京都市左京区吉田近衛町	定員変更(21) 定員変更(10) 定員変更(4)
薬学研究科 薬学専攻 博士課程 薬科学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 医薬創成情報科学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程	4 5 2 3 5 2 3	15 50 22 14 7	-	60 100 66 28 21	博士(薬学) 修士(薬科学) 博士(薬科学) 修士(薬科学) 博士(薬科学)	0.61 0.85 0.78 0.99 0.80	0.60 0.90 0.68 1.07 1.00		平成24 平成22 平成19	京都市左京区吉田下阿達町46-29	

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地
工学研究科					修士（工学） 博士（工学）					京都市西京区京 都大学桂
社会基盤工学専攻									平成15	
博士課程	5									
博士前期課程	2	58	-	116		1.31	1.31			
博士後期課程	3	17	-	51		1.27	1.00			
都市社会工学専攻									平成15	
博士課程	5									
博士前期課程	2	57	-	114		1.06	1.05			
博士後期課程	3	17	-	51		0.87	0.82			
都市環境工学専攻									平成15	
博士課程	5									
博士前期課程	2	36	-	72		0.99	0.97			
博士後期課程	3	10	-	30		1.00	1.20			
建築学専攻									昭和28	
博士課程	5									
博士前期課程	2	75	-	150		0.98	1.06			
博士後期課程	3	22	-	66		0.80	0.59			
機械理工学専攻									平成17	
博士課程	5									
博士前期課程	2	59	-	118		1.05	1.00			
博士後期課程	3	16	-	48		0.87	0.50			
マイクロエンジニアリング専攻									平成17	
博士課程	5									
博士前期課程	2	30	-	60		0.89	0.93			
博士後期課程	3	7	-	21		0.90	1.14			
航空宇宙工学専攻									平成6	
博士課程	5									
博士前期課程	2	24	-	48		0.87	0.91			
博士後期課程	3	7	-	21		0.42	0.14			
原子核工学専攻									昭和32	
博士課程	5									
博士前期課程	2	23	-	46		1.14	1.21			
博士後期課程	3	9	-	27		0.62	0.44			
材料工学専攻									平成6	
博士課程	5									
博士前期課程	2	38	-	76		1.20	1.18			
博士後期課程	3	10	-	30		0.86	0.50			
電気工学専攻									昭和28	
博士課程	5									
博士前期課程	2	38	-	76		1.03	1.00			
博士後期課程	3	10	-	30		0.83	0.80			
電子工学専攻									平成15	
博士課程	5									
博士前期課程	2	35	-	70		0.88	0.88			
博士後期課程	3	10	-	30		0.63	0.60			
材料化学専攻									平成5	
博士課程	5									
博士前期課程	2	29	-	58		1.10	1.17			
博士後期課程	3	9	-	27		0.47	0.33			
物質エネルギー化学専攻									平成5	
博士課程	5									
博士前期課程	2	39	-	78		0.94	1.07			
博士後期課程	3	11	-	33		1.17	1.27			
分子工学専攻									昭和58	
博士課程	5									
博士前期課程	2	35	-	70		0.83	0.82			
博士後期課程	3	10	-	30		0.90	0.70			
高分子化学専攻									昭和40	
博士課程	5									
博士前期課程	2	46	-	92		1.05	1.10			
博士後期課程	3	15	-	45		0.39	0.26			
合成・生物化学専攻									平成5	
博士課程	5									
博士前期課程	2	32	-	64		1.06	1.12			
博士後期課程	3	10	-	30		0.96	1.00			
化学工学専攻									昭和40	
博士課程	5									
博士前期課程	2	34	-	68		1.14	1.05			
博士後期課程	3	7	-	21		0.85	0.42			

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地
農学研究科					修士（農学） 博士（農学）				昭和28	京都市左京区北 白川追分町
農学専攻										
博士課程	5									
博士前期課程	2	33	-	66		1.02	0.87			
博士後期課程	3	8	-	24		0.58	0.25			
森林科学専攻									平成8	
博士課程	5									
博士前期課程	2	48	-	96		1.11	0.97			
博士後期課程	3	17	-	51		0.68	0.70			
応用生命科学専攻									平成9	
博士課程	5									
博士前期課程	2	63	-	126		0.90	0.93			
博士後期課程	3	17	-	51		0.86	0.94			
応用生物科学専攻									平成8	
博士課程	5									
博士前期課程	2	52	-	104		1.29	1.23			
博士後期課程	3	17	-	51		0.82	0.64			
地域環境科学専攻									平成7	
博士課程	5									
博士前期課程	2	50	-	100		1.10	0.98			
博士後期課程	3	15	-	45		0.68	0.60			
生物資源経済学専攻									平成7	
博士課程	5									
博士前期課程	2	24	-	48		0.97	0.87			
博士後期課程	3	8	-	24		0.87	0.62			
食品生物科学専攻									平成13	
博士課程	5									
博士前期課程	2	33	-	66		0.98	0.96			
博士後期課程	3	8	-	24		0.41	0.25			
人間・環境学研究科					修士（人間・環境学） 博士（人間・環境学）				平成15	京都市左京区吉 田二本松町
共生人間学専攻										
博士課程	5									
博士前期課程	2	69	-	138		1.05	0.94			
博士後期課程	3	28	-	84		1.40	1.14			
共生文明学専攻									平成15	
博士課程	5									
博士前期課程	2	57	-	114		0.62	0.64			
博士後期課程	3	25	-	75		0.80	0.84			
相関環境学専攻									平成15	
博士課程	5									
博士前期課程	2	38	-	76		0.93	0.73			
博士後期課程	3	15	-	45		1.06	1.13			
エネルギー科学研究科					修士（エネルギー科学） 博士（エネルギー科学）				平成8	京都市左京区吉 田本町
エネルギー社会・環境科学専攻										
博士課程	5									
博士前期課程	2	29	-	58		1.11	0.96			
博士後期課程	3	12	-	36		0.60	0.33			
エネルギー基礎科学専攻									平成8	
博士課程	5									
博士前期課程	2	42	-	84		1.25	1.21			
博士後期課程	3	12	-	36		1.05	0.66			
エネルギー変換科学専攻									平成8	
博士課程	5									
博士前期課程	2	25	-	50		1.06	0.88			
博士後期課程	3	4	-	12		1.33	0.50			
エネルギー応用科学専攻									平成8	
博士課程	5									
博士前期課程	2	34	-	68		1.05	1.08			
博士後期課程	3	7	-	21		0.56	0.28			
アジア・アフリカ地域研究研究科					博士（地域研究） ただし、修士（地域研究） の授与も可能				平成10	京都市左京区吉 田下阿達町46
東南アジア地域研究専攻										
博士課程	5	10	-	50		1.28	1.20			
アフリカ地域研究専攻									平成10	
博士課程	5	12	-	60		1.04	1.00			
グローバル地域研究専攻									平成21	
博士課程	5	8	-	40		1.09	1.37			

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地
情報学研究科					修士（情報学） 博士（情報学）					京都市左京区吉 田本町
知能情報学専攻									平成10	
博士課程	5									
博士前期課程	2	37	-	74		1.14	1.02			
博士後期課程	3	15	-	45		1.20	0.80			
社会情報学専攻									平成10	
博士課程	5									
博士前期課程	2	36	-	72		1.03	0.91			
博士後期課程	3	14	-	42		1.47	1.42			
先端数理科学専攻									平成10	
博士課程	5									
博士前期課程	2	20	-	40		0.82	0.70			
博士後期課程	3	6	-	18		0.49	0.66			
数理工学専攻									平成10	
博士課程	5									
博士前期課程	2	22	-	44		0.90	0.81			
博士後期課程	3	6	-	18		0.94	0.33			
システム科学専攻									平成10	
博士課程	5									
博士前期課程	2	32	-	64		1.15	1.09			
博士後期課程	3	8	-	24		1.08	0.62			
通信情報システム専攻									平成10	
博士課程	5									
博士前期課程	2	42	-	84		1.02	0.95			
博士後期課程	3	11	-	33		0.30	0.36			
生命科学研究所					修士（生命科学） 博士（生命科学）					京都市左京区吉 田近衛町
統合生命科学専攻									平成11	
博士課程	5									
博士前期課程	2	40	-	80		0.98	1.00			
博士後期課程	3	19	-	57		0.70	0.47			
高次生命科学専攻									平成11	
博士課程	5									
博士前期課程	2	35	-	70		1.02	0.94			
博士後期課程	3	14	-	42		1.40	1.35			
総合生存学館					博士（総合学術）					京都市左京区吉 田中阿達町1
総合生存学専攻					ただし、修士（総合学術） の授与も可能				平成25	
博士課程	5	20	-	100		0.73	0.80			
地球環境学舎					修士（地球環境学） 博士（地球環境学）					京都市左京区吉 田本町
地球環境学専攻									平成14	
博士後期課程	3	13	-	39		1.07	0.84			
環境マネジメント専攻									平成14	
博士課程	5									
博士前期課程	2	44	-	88		1.06	0.90			
博士後期課程	3	7	-	21		1.23	1.00			
公共政策教育部					公共政策修士（専門職）					京都市左京区吉 田本町
公共政策専攻									平成18	
専門職学位課程	2	40	-	80		1.03	1.05			
経営管理教育部					博士（経営科学）					京都市左京区吉 田本町
経営科学専攻									平成28	
博士課程										
博士後期課程	3	7	-	21		0.94	0.85			
経営管理専攻					経営学修士（専門職）				平成18	
専門職学位課程	2	100	-	200		1.05	0.99			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

(1) - ① 担当教員表
 <京都大学>

【認可時又は届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】			【令和2年度】			【令和3年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	松田 文彦 (57) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	松田 文彦 (57) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	松田 文彦 (58) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	松田 文彦 (59) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	松田 文彦 (60) <平成30年4月> 博士(医学)
		ゲノム医学 I ゲノム医学 II (研究指導)			次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用 ゲノム医学 I ゲノム医学 II (研究指導)			次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用 ゲノム医学 I ゲノム医学 II (研究指導)			次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用 ゲノム医学 I ゲノム医学 II (研究指導)			次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用 ゲノム医学 I ゲノム医学 II (研究指導)
専	教授	山田 亮 (50) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	山田 亮 (50) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	山田 亮 (51) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	山田 亮 (52) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	山田 亮 (53) <平成30年4月> 博士(医学)
		次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用 ゲノム医学 I ゲノム医学 II 統計遺伝学 I 統計遺伝学 II 統計的学習 I 統計的学習 II ゲノム・オミックス解析手法 I ゲノム・オミックス解析手法 II (研究指導)			次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用 統計遺伝学 I 統計遺伝学 II 統計的学習 I 統計的学習 II ゲノム・オミックス解析手法 I ゲノム・オミックス解析手法 II (研究指導)			次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用 統計遺伝学 I 統計遺伝学 II 統計的学習 I 統計的学習 II ゲノム・オミックス解析手法 I ゲノム・オミックス解析手法 II (研究指導)			統計遺伝学 I 統計遺伝学 II 統計的学習 I 統計的学習 II ゲノム・オミックス解析手法 I ゲノム・オミックス解析手法 II (研究指導)			統計遺伝学 I 統計遺伝学 II 統計的学習 I 統計的学習 II ゲノム・オミックス解析手法 I ゲノム・オミックス解析手法 II (研究指導)
専	教授	渡邊 大 (55) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	渡邊 大 (55) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	渡邊 大 (56) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	渡邊 大 (57) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	渡邊 大 (58) <平成30年4月> 博士(医学)
		(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)
専	教授	萩原 正敏 (59) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	萩原 正敏 (59) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	萩原 正敏 (60) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	萩原 正敏 (61) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	萩原 正敏 (62) <平成30年4月> 博士(医学)
		(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)
専	教授	齋藤 通紀 (47) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	齋藤 通紀 (47) <平成30年4月> 博士(医学)									
		(研究指導)			(研究指導)									
専	教授	岩井 一宏 (58) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	岩井 一宏 (58) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	岩井 一宏 (59) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	岩井 一宏 (60) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	岩井 一宏 (61) <平成30年4月> 博士(医学)
		(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)
専	教授	小川 誠司 (55) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	小川 誠司 (55) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	小川 誠司 (56) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	小川 誠司 (57) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	小川 誠司 (58) <平成30年4月> 博士(医学)
		(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用 (研究指導)			(研究指導)
専	教授	羽賀 博典 (51) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	羽賀 博典 (51) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	羽賀 博典 (52) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	羽賀 博典 (53) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	羽賀 博典 (54) <平成30年4月> 博士(医学)
		(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)
専	教授	中川 一路 (50) <平成30年4月> 博士(歯学)	専	教授	中川 一路 (50) <平成30年4月> 博士(歯学)	専	教授	中川 一路 (51) <平成30年4月> 博士(歯学)	専	教授	中川 一路 (52) <平成30年4月> 博士(歯学)	専	教授	中川 一路 (53) <平成30年4月> 博士(歯学)
		(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)
専	教授	玉木 敬二 (60) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	玉木 敬二 (60) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	玉木 敬二 (61) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	玉木 敬二 (62) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	玉木 敬二 (63) <平成30年4月> 博士(医学)
		(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)
専	教授	岩田 想 (54) <平成30年4月> 博士(農学)	専	教授	岩田 想 (54) <平成30年4月> 博士(農学)	専	教授	岩田 想 (55) <平成30年4月> 博士(農学)	専	教授	岩田 想 (56) <平成30年4月> 博士(農学)	専	教授	岩田 想 (57) <平成30年4月> 博士(農学)
		(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)
専	教授	篠原 隆司 (49) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	篠原 隆司 (49) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	篠原 隆司 (50) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	篠原 隆司 (51) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	篠原 隆司 (52) <平成30年4月> 博士(医学)
		(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)
専	教授	伊佐 正 (57) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	伊佐 正 (57) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	伊佐 正 (58) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	伊佐 正 (59) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	伊佐 正 (60) <平成30年4月> 博士(医学)
		(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)
専	教授	林 康紀 (52) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	林 康紀 (52) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	林 康紀 (53) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	林 康紀 (54) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	林 康紀 (55) <平成30年4月> 博士(医学)
		(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)
専	教授	浅野 雅秀 (58) <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	浅野 雅秀 (59) <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	浅野 雅秀 (60) <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	浅野 雅秀 (61) <平成30年4月> 博士(理学)	専	教授	浅野 雅秀 (62) <平成30年4月> 博士(理学)
		(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)			(研究指導)

<京都大学>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	大森 孝一 (58) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	松田 秀一 (52) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	別所 和久 (60) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	高橋 良輔 (59) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	宮本 享 (60) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	村井 俊哉 (51) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専(調)	准教授	鎌谷 洋一郎 (40) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	准教授	武内 章英 (50) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	准教授	栗本 一基 (43) <平成30年4月> 博士(理学) (研究指導)
専	准教授	佐々木 義輝 (47) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	准教授	木内 泰 (44) <平成30年4月> 博士(理学) (研究指導)
専	准教授	丸山 史人 (41) <平成30年4月> 博士(薬学) (研究指導)
専	准教授	小谷 泰一 (52) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	准教授	小林 拓也 (50) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	准教授	北山 仁志 (57) <平成30年4月> 博士(理学) (研究指導)
専	准教授	笹沼 博之 (43) <平成30年4月> 博士(理学) (研究指導)
専	准教授	古田 貴寛 (44) <平成30年4月> 博士(理学) (研究指導)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	大森 孝一 (58) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	松田 秀一 (52) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	別所 和久 (60) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	高橋 良輔 (59) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	宮本 享 (60) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	村井 俊哉 (52) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専(調)	准教授	鎌谷 洋一郎 (40) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	准教授	武内 章英 (50) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	准教授	栗本 一基 (44) <平成30年4月> 博士(理学) (研究指導)
専	准教授	木内 泰 (44) <平成30年4月> 博士(理学) (研究指導)
専	准教授	丸山 史人 (41) <平成30年4月> 博士(薬学) (研究指導)
専	准教授	小谷 泰一 (52) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	准教授	小林 拓也 (50) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	准教授	北山 仁志 (57) <平成30年4月> 博士(理学) (研究指導)
専	准教授	笹沼 博之 (43) <平成30年4月> 博士(理学) (研究指導)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	大森 孝一 (59) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	松田 秀一 (53) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	別所 和久 (61) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	高橋 良輔 (60) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	宮本 享 (61) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	村井 俊哉 (53) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	准教授	武内 章英 (51) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	准教授	木内 泰 (45) <平成30年4月> 博士(理学) (研究指導)
専	准教授	小谷 泰一 (53) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	准教授	北山 仁志 (58) <平成30年4月> 博士(理学) (研究指導)
専	准教授	笹沼 博之 (44) <平成30年4月> 博士(理学) (研究指導)

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	大森 孝一 (60) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	松田 秀一 (54) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	別所 和久 (62) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	高橋 良輔 (61) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	宮本 享 (62) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	村井 俊哉 (54) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	准教授	武内 章英 (52) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	准教授	木内 泰 (46) <平成30年4月> 博士(理学) (研究指導)
専	准教授	小谷 泰一 (54) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	准教授	笹沼 博之 (45) <平成30年4月> 博士(理学) (研究指導)

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	大森 孝一 (61) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	松田 秀一 (55) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	別所 和久 (63) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	高橋 良輔 (62) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	宮本 享 (63) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	教授	村井 俊哉 (55) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	准教授	武内 章英 (53) <平成30年4月> 博士(医学) (研究指導)
専	准教授	木内 泰 (47) <平成30年4月> 博士(理学) (研究指導)

<マギル大学>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
外国	准教授相当	Robert Sladek <平成30年4月> (研究指導)
外国	准教授相当	Tomi Pastinen <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Anna K. Naumova <平成30年4月> Human Genetics (研究指導)
外国	助教相当	Simon Gravel <平成30年4月> Population Genetics (研究指導)
外国	助教相当	Yojiro Yamanaka <平成30年4月> Stem Cell Biology (研究指導)
外国	助教相当	Ziv Gan-Or <平成30年4月> Advances in Human Genetics 1 (研究指導)
外国	助教相当	Carl Ernst <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Claudia L. Kleinman <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Colin Crist <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Elin Grundberg <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Geneviève Bernard <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	George Chong <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	George Zogopoulos <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Hamed S. Najafabadi <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Loydie Jerome- Majewska <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Pierre Moffatt <平成30年4月> (研究指導)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
外国	准教授相当	Robert Sladek <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Anna K. Naumova <平成30年4月> Human Genetics (研究指導)
外国	助教相当	Simon Gravel <平成30年4月> Population Genetics (研究指導)
外国	助教相当	Yojiro Yamanaka <平成30年4月> Stem Cell Biology (研究指導)
外国	助教相当	Ziv Gan-Or <平成30年4月> Advances in Human Genetics 1 (研究指導)
外国	准教授相当	Carl Ernst <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Claudia L. Kleinman <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Colin Crist <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Geneviève Bernard <平成30年4月> Advances in Human Genetics 1 (研究指導)
外国	助教相当	George Chong <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	George Zogopoulos <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Hamed S. Najafabadi <平成30年4月> (研究指導)
外国	准教授相当	Loydie Jerome- Majewska <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Pierre Moffatt <平成30年4月> (研究指導)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
外国	准教授相当	Robert Sladek <平成30年4月> (研究指導)
外国	准教授相当	Anna K. Naumova <平成30年4月> Human Genetics (研究指導)
外国	助教相当	Simon Gravel <平成30年4月> Population Genetics (研究指導)
外国	助教相当	Yojiro Yamanaka <平成30年4月> Human Genetics Stem Cell Biology (研究指導)
外国	助教相当	Ziv Gan-Or <平成30年4月> Advanced Readings in Genetics 1 (研究指導)
外国	准教授相当	Carl Ernst <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Claudia L. Kleinman <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Colin Crist <平成30年4月> (研究指導)
外国	准教授相当	Geneviève Bernard <平成30年4月> Advanced Readings in Genetics 1 (研究指導)
外国	助教相当	George Chong <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	George Zogopoulos <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Hamed S. Najafabadi <平成30年4月> Advanced Readings in Genetics 3 (研究指導)
外国	准教授相当	Loydie Jerome- Majewska <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Pierre Moffatt <平成30年4月> (研究指導)

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
外国	准教授相当	Robert Sladek <平成30年4月> (研究指導)
外国	准教授相当	Anna K. Naumova <平成30年4月> Human Genetics (研究指導)
外国	助教相当	Simon Gravel <平成30年4月> Population Genetics (研究指導)
外国	助教相当	Yojiro Yamanaka <平成30年4月> Human Genetics Stem Cell Biology (研究指導)
外国	助教相当	Ziv Gan-Or <平成30年4月> Advanced Readings in Genetics 1 Neurogenetics (研究指導)
外国	准教授相当	Carl Ernst <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Claudia L. Kleinman <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Colin Crist <平成30年4月> (研究指導)
外国	准教授相当	Geneviève Bernard <平成30年4月> Advanced Readings in Genetics 1 Neurogenetics (研究指導)
外国	助教相当	George Chong <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	George Zogopoulos <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Hamed S. Najafabadi <平成30年4月> Advanced Readings in Genetics 2 (研究指導)
外国	准教授相当	Loydie Jerome- Majewska <平成30年4月> Advanced Readings in Genetics 3 (研究指導)
外国	助教相当	Pierre Moffatt <平成30年4月> (研究指導)

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
外国	准教授相当	Robert Sladek <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Anna K. Naumova <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Simon Gravel <平成30年4月> Human Genetics Population Genetics (研究指導)
外国	助教相当	Yojiro Yamanaka <平成30年4月> Human Genetics Stem Cell Biology Topics on the Human Genome (研究指導)
外国	助教相当	Ziv Gan-Or <平成30年4月> Neurogenetics (研究指導)
外国	准教授相当	Carl Ernst <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Claudia L. Kleinman <平成30年4月> Human Genetics Advanced Readings in Genetics 1 (研究指導)
外国	助教相当	Colin Crist <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Geneviève Bernard <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	George Chong <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	George Zogopoulos <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Hamed S. Najafabadi <平成30年4月> Topics on the Human Genome Advanced Readings in Genetics 1 Advanced Readings in Genetics 2 (研究指導)
外国	准教授相当	Loydie Jerome- Majewska <平成30年4月> Advanced Readings in Genetics 3 (研究指導)
外国	助教相当	Pierre Moffatt <平成30年4月> Human Biochemical Genetics (研究指導)

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
外国	助教相当	Vahab D. Soleimani <平成30年4月> (研究指導)	外国	助教相当	Vahab D. Soleimani <平成30年4月> (研究指導)	外国	助教相当	Vahab D. Soleimani <平成30年4月> Advanced Readings in Genetics 3 (研究指導)	外国	助教相当	Vahab D. Soleimani <平成30年4月> Advanced Readings in Genetics 2 (研究指導)	外国	助教相当	Vahab D. Soleimani <平成30年4月> Advanced Readings in Genetics 2 (研究指導)
外国	助教相当	Yannis Trakadis <平成30年4月> (研究指導)	外国	助教相当	Yannis Trakadis <平成30年4月> (研究指導)	外国	助教相当	Yannis Trakadis <平成30年4月> (研究指導)	外国	助教相当	Yannis Trakadis <平成30年4月> (研究指導)	外国	助教相当	Yannis Trakadis <平成30年4月> (研究指導)
外国	助教相当	Yasser Riazalhosseini <平成30年4月> (研究指導)	外国	助教相当	Yasser Riazalhosseini <平成30年4月> (研究指導)	外国	助教相当	Yasser Riazalhosseini <平成30年4月> (研究指導)	外国	助教相当	Yasser Riazalhosseini <平成30年4月> (研究指導)	外国	助教相当	Yasser Riazalhosseini <平成30年4月> Advanced Readings in Genetics 1 (研究指導)
			外国	教授相当	Guy Rouleau <平成30年4月> (研究指導)	外国	教授相当	Guy Rouleau <平成30年4月> (研究指導)	外国	教授相当	Guy Rouleau <平成30年4月> (研究指導)	外国	教授相当	Guy Rouleau <平成30年4月> (研究指導)
			外国	准教授相当	Ryan Hernandez <平成30年8月> (研究指導)	外国	准教授相当	Ryan Hernandez <平成30年8月> (研究指導)	外国	准教授相当	Ryan Hernandez <平成30年8月> (研究指導)	外国	准教授相当	Ryan Hernandez <平成30年8月> (研究指導)
			外国	助教相当	Logan Walsh <平成30年8月> Advances in Human Genetics 1 (研究指導)	外国	助教相当	Logan Walsh <平成30年8月> Advances in Human Genetics 1 (研究指導)	外国	助教相当	Logan Walsh <平成30年8月> Advances in Human Genetics 1 (研究指導)	外国	助教相当	Logan Walsh <平成30年8月> Human Genetics Advances in Human Genetics 1 (研究指導)
			外国	助教相当	Dara Torgerson <平成30年8月> (研究指導)	外国	助教相当	Dara Torgerson <平成30年8月> (研究指導)	外国	助教相当	Dara Torgerson <平成30年8月> (研究指導)	外国	助教相当	Dara Torgerson <平成30年8月> (研究指導)
			外国	助教相当	David Langlais <平成30年8月> (研究指導)	外国	助教相当	David Langlais <平成30年8月> (研究指導)	外国	助教相当	David Langlais <平成30年8月> (研究指導)	外国	助教相当	David Langlais <平成30年8月> (研究指導)
			外国	助教相当	Livia Garzia <平成30年8月> (研究指導)	外国	助教相当	Livia Garzia <平成30年8月> (研究指導)	外国	助教相当	Livia Garzia <平成30年8月> (研究指導)	外国	助教相当	Livia Garzia <平成30年8月> (研究指導)
			外国	助教相当	Swneke Bailey <平成30年8月> (研究指導)	外国	助教相当	Swneke Bailey <平成30年8月> (研究指導)	外国	助教相当	Swneke Bailey <平成30年8月> (研究指導)	外国	助教相当	Swneke Bailey <平成30年8月> (研究指導)
						外国	教授相当	Luda Diatchenko <令和元年8月> (研究指導)	外国	教授相当	Luda Diatchenko <令和元年8月> (研究指導)	外国	教授相当	Luda Diatchenko <令和元年8月> (研究指導)
						外国	准教授相当	Donald C. Vinh <令和元年8月> (研究指導)	外国	准教授相当	Donald C. Vinh <令和元年8月> (研究指導)	外国	准教授相当	Donald C. Vinh <令和元年8月> (研究指導)
						外国	助教相当	Catherine Goudie <令和元年8月> (研究指導)	外国	助教相当	Catherine Goudie <令和元年8月> (研究指導)	外国	助教相当	Catherine Goudie <令和元年8月> (研究指導)
											外国	教授相当	Vincent Mooser <令和2年8月> (研究指導)	
											外国	助教相当	Jean-Baptiste Riviere <令和2年8月> Topics on the Human Genome (研究指導)	
											外国	助教相当	Sali Farhan <令和2年8月> (研究指導)	

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください)。
 ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

<京都大学>

【平成30年度】

- ・松田文彦教授の担当科目に「次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用」を追加。
- ・山田亮教授、「ゲノム医学Ⅰ」「ゲノム医学Ⅱ」の担当免。
- ・鎌谷洋一郎准教授の担当科目に「次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用」、「ゲノム医学Ⅰ」、「ゲノム医学Ⅱ」、「ゲノム・オミックス解析手法Ⅰ」及び「ゲノム・オミックス解析手法Ⅱ」を追加。
- ・佐々木義輝准教授退職。後任に平成30年4月佐々木克博講師が就任し、「研究指導」を担当。
- ・古田貴寛准教授退職。後任は未定であるが、平成30年10月採用で専任教員を公募予定。
- ・庫本高志准教授退職。後任に平成30年4月成瀬智恵准教授が就任し、「研究指導」を担当。
- ・牧島秀樹講師、平成30年4月准教授に昇任。
- ・小川正晃講師退職。後任に平成30年5月肥後剛康講師が就任し、「研究指導」を担当。
- ・日笠幸一郎准教授（兼任）、平成30年4月講師（兼任）として就任。
- ・高橋めい子講師（兼任）就任辞退。後任の補充予定なし。
- ・川口修治助教（兼任）、平成30年4月助教（専任）として就任。
- ・平成30年4月Shohab Youssefian教授が就任し、「ゲノム医学Ⅰ」及び「ゲノム医学Ⅱ」の授業を担当。
- ・平成30年7月滝田順子教授が就任し、「研究指導」を担当。
- ・平成30年10月竹内理教授が就任し、「研究指導」を担当。

【令和元年度】

- ・斎藤通紀教授学内他部局へ配置換。後任は未定。
- ・栗本一基准教授退職。後任に平成31年4月大田浩准教授が就任し、「研究指導」を担当。
- ・小林拓也准教授退職。後任に平成31年4月野村紀通准教授が就任し、「研究指導」を担当。
- ・西小森隆太准教授退職。後任には平成30年7月に就任した滝田順子教授が当る。
- ・齋藤晋講師、令和元年5月森本尚樹教授就任に伴い同教授と「研究指導」の担当を交代。
- ・平成31年4月長崎正朗教授（兼任）が就任し、「次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用」、「ゲノム医学Ⅰ」及び「ゲノム医学Ⅱ」の授業を担当。
- ・令和元年7月上野英樹教授が就任し「研究指導」を担当。
- ・令和元年7月付吉富啓之准教授が就任し「研究指導」を担当。
- ・令和元年10月花川隆教授が就任し「研究指導」を担当。
- ・令和元年5月鎌谷洋一郎准教授が退職、教授（兼任）として「次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用」「ゲノム医学Ⅰ」を担当。「ゲノム医学Ⅱ」「ゲノム・オミックス解析手法Ⅰ」「ゲノム・オミックス解析手法Ⅱ」「研究指導」担当免。調整担当専任教員の後任は川口修治助教（令和2年3月准教授昇任）が担当する。
- ・令和元年6月長尾美紀准教授が教授に昇任し、引き続き「研究指導」を担当。
- ・令和元年6月丸山史人准教授退職。後任未定。
- ・令和2年3月川口修治助教が准教授に昇任、引き続き「次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用」、「ゲノム医学Ⅰ」「ゲノム医学Ⅱ」担当、「研究指導」を担当。

【令和2年度】

- ・令和2年3月小池薫教授退職。後任未定。
- ・令和2年3月上本伸二教授退職。後任未定。
- ・令和2年3月北山仁志准教授退職。後任未定。
- ・令和2年3月日笠幸一郎講師（兼任）任期満了につき、「次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用」「ゲノム医学Ⅰ」「ゲノム医学Ⅱ」担当免。
- ・山田亮教授「次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用」の担当免。
- ・Shohab Youssefian教授「ゲノム医学Ⅰ」「ゲノム医学Ⅱ」の担当免。
- ・川口修治准教授「ゲノム医学Ⅰ」「ゲノム医学Ⅱ」担当免。
- ・小川 誠司教授「次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用」担当。
- ・田原康玄准教授「ゲノム医学Ⅱ」「研究指導」担当。

【令和3年度】

- ・令和2年7月田原康玄准教授退職。後任未定。教授（兼任）として「ゲノム医学Ⅱ」を担当。
- ・令和2年7月小谷泰一准教授退職。後任未定。
- ・令和2年11月大村浩一郎准教授退職。後任未定。
- ・令和2年12月平島剛志講師退職。学内他部局に配置換のため。後任未定。
- ・令和3年3月小川修教授退職。後任未定。
- ・令和3年3月鎌谷洋一郎教授退職。後任未定。
- ・令和3年4月笹沼博之准教授退職。後任未定。
- ・令和2年3月小濱和貴准教授が教授に昇任し、引き続き「研究指導」を担当。
- ・令和2年4月小林恭准教授が就任し「研究指導」を担当。
- ・令和2年5月梅田達也准教授が古田貴寛准教授の後任に就任し、「研究指導」を担当。
- ・令和2年6月大鶴繁教授が就任し「研究指導」を担当。
- ・令和2年10月森信暁雄教授が就任し「研究指導」を担当。
- ・令和2年11月宮尾昌講師が就任し「研究指導」を担当。
- ・令和2年11月中本裕士教授が就任し「研究指導」を担当。
- ・令和3年2月寺井健太准教授が就任し「研究指導」を担当
- ・令和3年3月小川誠司教授「次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用」担当免。
- ・令和3年4月波多野悦朗教授が就任し「研究指導」を担当。
- ・令和3年4月石守崇好准教授が昇任し、引き続き「研究指導」を担当。
- ・令和3年4月野澤孝志准教授が就任し、「研究指導」を担当。
- ・令和3年4月川口修治准教授の担当科目に「ゲノム医学Ⅱ」を追加。

<マギル大学>

【平成30年度】

- ・ Feige Kaplan教授相当退職。
- ・ Patricia N. Tonin准教授相当、教授相当に昇任。
- ・ Robert Nadon准教授相当、「Using Bioinformatics Resources」の担当免。
- ・ Bernard Brais准教授相当、教授相当に昇任。
- ・ Christina K. Haston准教授相当退職。
- ・ Ken Dewar准教授相当の担当科目に「Using Bioinformatics Resources」を追加。
- ・ Mark A. Trifiro准教授相当、教授相当に昇任。
- ・ Philippe Campeau准教授相当退職。
- ・ Tomi Pastinen准教授相当退職。
- ・ Anna K. Naumova助教相当、准教授相当に昇任。
- ・ Carl Ernst助教相当、准教授相当に昇任。
- ・ Elin Grundberg助教相当退職。
- ・ Geneviève Bernard助教相当、准教授相当に昇任。
- ・ Geneviève Bernard准教授相当の担当科目に「Advances in Human Genetics 1」を追加。
- ・ Loydie Jerome-Majewska助教相当、准教授相当に昇任。
- ・ 平成30年4月Guy Rouleau教授相当が就任し、「研究指導」を担当。
- ・ 平成30年8月Ryan Hernandez准教授相当が就任し、「研究指導」を担当。
- ・ 平成30年8月Logan Walsh助教相当が就任し、「Advances in Human Genetics 1」の授業及び「研究指導」を担当。
- ・ 平成30年8月Dara Torgerson助教相当が就任し、「研究指導」を担当。
- ・ 平成30年8月David Langlais助教相当が就任し、「研究指導」を担当。
- ・ 平成30年8月Livia Garzia助教相当が就任し、「研究指導」を担当。
- ・ 平成30年8月Sweke Bailey助教相当が就任し、「研究指導」を担当。

【令和元年度】

- ・ Danielle Malo教授相当、「Techniques in Molecular Genetics」の担当免。
- ・ Geoffrey N. Hendy教授相当死去。
- ・ J. Brent Richards教授相当「PhD Senior Seminar」を担当。
- ・ Guillaume Bourque准教授相当の担当科目に「PhD Senior Seminar」を追加。
- ・ Jacek Majewski准教授相当の担当科目に「Human Genetics」、「PhD Senior Seminar」を追加。
- ・ Ma'n Hilmi M. Zawati准教授相当の担当科目に「Genetics and Bioethics」を追加。
- ・ Jamie Engert准教授相当、「Human Genetics」の授業を担当。
- ・ Ken Dewar准教授相当の担当科目に「Human Genetics」を追加。
- ・ Yojiro Yamanaka助教相当の担当科目に「Human Genetics」を追加。
- ・ Ziv Gan-Or助教相当、「Advances in Human Genetics 1」の担当免、「Advanced Readings in Genetics 1」の授業を担当。
- ・ Geneviève Bernard准教授相当、「Advances in Human Genetics 1」の担当免、「Advanced Readings in Genetics 1」の授業を担当。
- ・ Hamed S. Najafabadi助教相当、「Advanced Readings in Genetics 3」の授業を担当。
- ・ Vahab D. Soleimani助教相当、「Advanced Readings in Genetics 3」の授業を担当。
- ・ 令和元年8月Luda Diatchenko教授相当が就任し、「研究指導」を担当。
- ・ 令和元年8月Donald. C. Vinh准教授相当が就任し、「研究指導」を担当。
- ・ 令和元年8月Catherine Goudie助教相当が就任し、「研究指導」を担当。
- ・ Guillaume Bourque准教授相当、教授相当に昇任。
- ・ Ioannis Ragoussis准教授相当、教授相当に昇任。

【令和2年度】

- ・ Jacques Genest教授相当「Human Biochemical Genetics」担当免。
- ・ Ioannis Ragoussis教授相当「次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用」担当。
- ・ Ma'n Hilmi M. Zawati准教授相当、「Genetics and Bioethics」担当免、「研究指導」担当。
- ・ Patricia N. Tonin教授相当の担当科目に「Advanced Readings in Genetics 3」追加。
- ・ Ziv Gan-Or助教相当の担当科目に「Neurogenetics」追加。
- ・ Geneviève Bernard准教授相当の担当科目に「Neurogenetics」追加。
- ・ Hamed S. Najafabadi助教相当「Advanced Readings in Genetics 3」担当免、「Advanced Readings in Genetics 2」担当。
- ・ Loydie Jerome-Majewska准教授相当「Advanced Readings in Genetics 3」担当。
- ・ Vahab D. Soleimani助教相当「Advanced Readings in Genetics 3」担当免、「Advanced Readings in Genetics 2」担当。

【令和3年度】

- ・ Jacques Genest 教授相当「Human Biochemical Genetics」担当追加。
- ・ Eric Shoubridge 教授相当「Human Biochemical Genetics」担当追加。
- ・ Ioannis Ragoussis 教授相当「Advanced Readings in Genetics 1」担当追加。
- ・ Jacek Majewski 准教授相当「Human Genetics」担当免。
- ・ Ma'n Hilmi M. Zawati 准教授相当、助教相当に降任、「Topics on the Human Genome」、「Advanced Readings in Genetics 1」担当追加。
- ・ Patricia N. Tonin 教授相当「Human Genetics」担当免。
- ・ Yann Joly 准教授相当「Human Genetics」担当追加。
- ・ Anna K. Naumova 准教授相当「Human Genetics」担当免。
- ・ Simon Gravel 助教相当「Human Genetics」担当追加。
- ・ Yojiro Yamanaka 助教相当「Topics on the Human Genome」担当追加。
- ・ Ziv Gan-Or 助教相当「Advanced Readings in Genetics 1」担当免。
- ・ Claudia L. Kleinman 助教相当「Human Genetics」、「Advanced Readings in Genetics 1」担当追加。
- ・ Geneviève Bernard 准教授相当「Advanced Readings in Genetics 1」、「Neurogenetics」担当免。
- ・ Hamed S. Najafabadi 助教相当「Topics on the Human Genome」、「Advanced Readings in Genetics 1」担当追加。
- ・ Pierre Moffatt 助教相当「Human Biochemical Genetics」担当追加。
- ・ Yasser Riazalhosseini 助教相当「Advanced Readings in Genetics 1」担当追加。
- ・ Logan Walsh 助教相当「Human Genetics」担当追加。
- ・ Vincent Mooser 教授相当就任。「研究指導」を担当。
- ・ Jean-Baptiste Riviere 助教相当就任。「研究指導」、「Topics on the Human Genome」を担当。
- ・ Sali Farhan 助教相当就任。「研究指導」を担当。

(注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、

大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員（研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
30 名	— 名	30 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
39	18	6	0	63	0	46	15	4	0	65	0
(40)	(17)	(5)	(1)	(63)	(0)						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
63	0	0				65	0	0			
(61)	(1)	(1)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
46	15	4	0	65	0	46	15	4	0	65	0
[7]	[△3]	[△2]	[0]	[2]	(0)	[7]	[△3]	[△2]	[0]	[2]	(0)
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
65	0	0				65	0	0			
[2]	[0]	[0]				[2]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{65}{63} = \boxed{103.17} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{65} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	准教授	佐々木 義輝	H30.3	必修	研究指導	①	H30.3.31 辞職のため就任辞退（30）
2	准教授	古田 貴寛	H29.8	必修	研究指導	③	H29.8.31 辞職のため就任辞退（30）
3	准教授	庫本 高志	H30.3	必修	研究指導	①	H30.3.31 辞職のため就任辞退（30）
4	講師	小川 正晃	H30.3	必修	研究指導	①	H30.3.31 辞職のため就任辞退（30）

合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
4	人	必修	4 科目	必修	3 科目	必修	0 科目	必修	1 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	4 科目	計	3 科目	計	0 科目	計	1 科目

(注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	斎藤 通紀	H30.10	必修	研究指導	③	H30.10.30 学内他部局へ配置換のため辞任（元）
2	准教授	栗本 一基	H30.8	必修	研究指導	①	H30.8.31 辞職のため辞任（元）
3	准教授	小林 拓也	H30.6	必修	研究指導	①	H30.6.30 辞職のため辞任（元）
4	准教授	西小森 隆太	H31.3	必修	研究指導	①	H31.3.31 辞職のため辞任（元）
5	講師	齊藤 晋	H31.4	必修	研究指導	①	R元.5.1付けで新たに就任した教授と担当を交代するため、H31.4.30辞任（元）
6	准教授	鎌谷 洋一郎	R元.5	必修	次世代シーケンス技術を用いたゲノム解析とその応用	②	令和元年5月31日付辞職（2）
				必修	ゲノム医学Ⅰ	②	
				必修	ゲノム医学Ⅱ	①	
				選択	ゲノム・オミックス解析手法Ⅰ	①	
				選択	ゲノム・オミックス解析手法Ⅱ	①	
				必修	研究指導	①	
7	准教授	丸山 史人	R元.6	必修	研究指導	①	令和元年6月30日付辞職（2）
8	教授	小池 薫	R2.3	必修	研究指導	①	令和2年3月31日付辞職（2）
9	教授	上本 伸二	R2.3	必修	研究指導	①	令和2年3月31日付辞職（2）
10	准教授	北山 仁志	R2.3	必修	研究指導	①	令和2年3月31日付辞職（2）
11	准教授	小谷 泰一	R2.7	必修	研究指導	①	令和2年7月31日付辞職（3）
12	准教授	田原 康玄	R2.7	必修	研究指導	①	令和2年7月31日付辞職（3）
				必修	ゲノム医学Ⅱ	②	
13	准教授	大村 浩一郎	R2.11	必修	研究指導	①	令和2年11月15日付辞職（3）
14	講師	平島 剛志	R2.12	必修	研究指導	①	令和2年12月31日付学内他部局へ配置換のため辞職（3）
15	教授	小川 修	R3.3	必修	研究指導	①	令和3年3月31日付辞職（3）
16	准教授	笹沼 博之	R3.3	必修	研究指導	①	令和3年3月31日付辞職（3）

合計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
16	人	必修	20 科目	必修	16 科目	必修	3 科目	必修	1 科目
		選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	22 科目	計	18 科目	計	3 科目	計	1 科目

(注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
20 人	必修	24 科目	必修	19 科目	必修	3 科目	必修	2 科目
	選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	26 科目	計	21 科目	計	3 科目	計	2 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{20}{63} = \boxed{31.74} \%$$

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>就任辞退した教員が担当する科目はいずれも研究指導であり、他の同じ専門分野の教員が代わって指導を行うため学生の履修への支障はない。なお、後任教員については3名が既に就任済みであり、残りの1名については今後公募を行う予定である。また、学生には指導教員から十分な説明を行い周知している。(30)</p> <p>就任辞退した教員の後任教員のうち、今後公募を行うとしていた1名についてはまだ後任が決まっていない。また、平成30年度中に辞任した教員が担当する科目はいずれも研究指導であり、同じ専門分野の他の教員が代わって指導を行うため学生の履修への支障はない。なお、後任教員については、5名のうち4名が既に就任済みである。また、学生には指導教員から十分な説明を行い周知している。(元)</p> <p>就任辞退した教員の後任教員のうち、今後公募を行うとしていた1名についてはまだ後任が決まっていない。また、令和元年度中に辞任した教員が担当する科目のうち研究指導以外については、いずれも専任教員又は兼任教員が担当し、研究指導については、同じ専門分野の他の教員が代わって指導を行うため学生の履修への支障はない。なお、後任教員については、5名のうち4名が未定であるが、今後公募を行い選考予定である。また、学生には指導教員から十分な説明を行い周知している。(2)</p> <p>就任辞退した教員の後任教員のうち、今後公募を行うとしていた1名についてはまだ後任が決まっていない。また、令和2年度中に辞任した教員が担当する科目のうち研究指導は同じ専門分野の他の教員が代わって指導を行うため学生の履修への支障はない。辞任した教員が担当していた必修科目「ゲノム医学Ⅱ」については同教員が兼任教員として授業を担当しているため学生の履修への支障はない。なお、後任教員は未定であるが、今後公募を行い選考予定である。また、学生には指導教員から十分な説明を行い周知している。(3)</p>

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
認 可 時 (平成30年)	・協定書の締結にあたっては、申請書に示されている内容を確実に反映させること。	留意事項 ・申請書に記載した内容を反映させた協定書を締結している。(30)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<大学院医学研究科 京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>① 協議の場</p>	<p>①</p> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際連携専攻協議会 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成30年1月15日(月) 於マギル大学 議 題： <ol style="list-style-type: none"> 1) 京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻の管理・運営に関する内規の確認について 2) 国際連携専攻学生の二次選考の実施方法について 3) 国際連携専攻のカリキュラムと同専攻の学生の2018年度における履修計画について 4) 国際連携専攻会議の今後の運営について 第2回 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成30年8月13日(月) 於マギル大学 議 題： <ol style="list-style-type: none"> 1) 国際連携専攻の履修単位の割合の変更および同変更にかかるANNEXの更新について 2) 国際連携専攻学生の入学要件(英語能力)の確認およびANNEXの更新について ・国際連携専攻会議 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成30年2月20日(火) TV会議 議 題：平成30年度入学者(京都大学)について 第2回 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成30年3月14日(水) メール審議 議 題：専攻長の選出について 第3回 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成30年5月8日(火) TV会議 議 題：平成30年度入学者(マギル大学)について 第4回 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成31年2月12日(火) TV会議 議 題： <ol style="list-style-type: none"> 1) 2019年度入学者の第二次選考について 2) 専攻長の選出について 第5回 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和2年2月10日(月) TV会議 議 題： <ol style="list-style-type: none"> 1) 2020年度入学者(京都大学)の第二次選考について 第6回 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和2年3月13日(金) TV会議 議 題： <ol style="list-style-type: none"> 1) 2020年度入学者(マギル大学)の第二次選考について 2) 専攻長の選出について 第7回 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和3年2月2日(火) TV会議 議 題： <ol style="list-style-type: none"> 1) 2021年度入学者(京都大学)の第二次選考について 2) 転専攻について 3) 専攻長の選考について 第8回 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和3年4月5日(月) TV会議 議 題： <ol style="list-style-type: none"> 1) 2021年度入学者(マギル大学)の第二次選考について

- ② マギル大学で履修する科目数（単位数）の内訳
- ・マギル大学 12 単位（必修 3 単位、選択 9 単位）
 - ・京都大学 16 単位（必修 12 単位、選択 4 単位）
 - ・共同開設科目 2 単位（必修 2 単位）
 - ・合計 30 単位（必修 17 単位、選択 13 単位）

- ③ 入学要件のうち語学にかかる要件の詳細化
- ・ TOEFL iBT86 点以上

- ④ コロナウイルス感染拡大防止に係る変更について

- ② 以下のとおり変更。
- ・マギル大学 12 単位（必修 6 単位、選択 6 単位）
 - ・京都大学 16 単位（必修 12 単位、選択 4 単位）
 - ・共同開設科目 2 単位（必修 2 単位）
 - ・合計 30 単位（必修 20 単位、選択 10 単位）

本専攻における学位審査の流れについて両大学間で検討および協議を行った。その結果、論文執筆のための見識やデータ理解の深化および公聴会へ備えさせることを目的として、学位論文提出前に学生自らにセミナーを主催させ、かつ、同輩学生が主催するセミナーに参加させることとし、主催セミナーにおいて及第点を得ることを学位論文提出の条件とするため、一連のセミナーの主催および参加を単位化し本専攻における必修科目と整理することが適当であるとの合意に至った。また、授業科目化することで学生の履修状況等の把握が可能となり、管理上も望ましい効果があると見込まれる。

- ③
- ・ TOEFL iBT86 点以上かつ各セクションが 20 点以上に変更

本専攻への入学者の選考を行うにあたり、本専攻においては座学での講義の受講にとどまらず、学位論文執筆、セミナーおよび公聴会の実施、高度な研究の遂行等が必要であることから、使用言語となる英語の運用能力に関しては 4 技能（すなわちリーディング、リスニング、スピーキング、ライティング）をすべてバランスよく有している必要があるという見解に至り、協議のうえ、入学要件に明示することに合意した。これにより、学生は 1 年次のより早い段階から、両大学の指導教員とともに研究テーマの検討、研究計画の立案および研究の開始を実行することができる

令和 3 年度 5 月末まで対面での授業は実施せず、オンラインで実施する。

- (注) ・ 1～6 の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 大学設置基準第 51 条 2 項に規定されている携外国大学との「協議の場」について、実施状況（開催日・議題等）を記載してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・両大学がそれぞれ自大学の制度の中でFD活動等を行う。
- ・京都大学医学研究科は「医学研究科運営委員会」が所管する。
- ・マギル大学は委員会を設けていない。

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

- ・医学研究科運営委員会は年6回定例に開催し、必要に応じて臨時に開催する。
FD活動等については必要に応じて審議する。

c 委員会の審議事項等

- ・入学者の選抜に関する事。
- ・学生の身分に関する事。
- ・カリキュラム等教育に関する事。
- ・奨学生の選考に関する事。
- ・和風会奨学金に関する事。
- ・その他医学研究科に関する事。

② 実施状況

a 実施内容

- ・授業評価アンケート (京都大学)
- ・医学教育ワークショップ (京都大学)
- ・授業評価 (マギル大学)

b 実施方法

- ・学生に対する書面による授業評価アンケート (京都大学)
- ・講師による講演、参加教員によるグループ討論 (京都大学)
- ・学生による書面によるコメントや数値評価 (マギル大学)

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

- ・授業評価アンケートは各学期末 (前期は8月、後期は2月) に実施した。 (京都大学)
- ・医学教育ワークショップは平成30年12月22日、令和元年12月28日、令和2年12月26日に開催した。参加教員はそれぞれ73名、70名、81名。 (京都大学)
- ・授業評価はオンラインによる授業評価システムにより随時実施している。 (マギル大学)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・実施結果は国際連携専攻会議に報告し両大学教員相互の情報共有を図るとともに、関係教員は実施結果に対する自己評価を行い、PDCAサイクルに基づいた授業改善・向上に取り組む。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成30年度と令和元年度、令和2年度、京都大学は、各学期末 (前期は8月、後期は2月) に実施した。
マギル大学は、各授業科目開講期末にオンラインによる授業評価システムにより随時実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

京都大学は、アンケートシステムにより教員及び学生に集計結果等が共有される。
マギル大学は、オンラインシステムにより教員及び学生に通知される。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・入学定員4名に対して、2018年度は4名入学、2019年度は2名入学、2020年度は3名入学、2021年度は5名入学という状況である。
2020年度入学者については、海外渡航制限の解除見込みが立たないため、1名が転専攻したが、新たに1名が2年次に編入した。
4年間を平均した定員充足率は0.88倍と向上した。今後入学者の確保に向けて一層取り組んでいく。
退職教員の補充等による教育研究に必要な教員の確保、授業科目の開講等は当初の計画どおり達成できている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・医学研究科としては、京都大学として実施する自己点検・評価の中で、自己点検・評価を実施するが、公表時期は未定。
- ・国際連携専攻としては、4年後に最初の修了者が出た後、自己点検・評価を実施する予定だが、公表時期は未定。

b 公表方法

- ・両大学のホームページに公開予定。

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和元年度に大学改革支援・学位授与機構の大学機関別認証評価を受審した。
(評価結果：大学改革支援・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている。)

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。